

平成27年度行政事業レビューシート（内閣府）

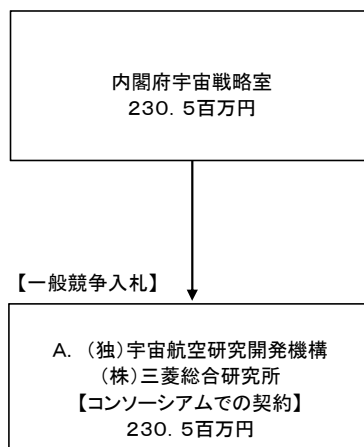
事業名	広域災害監視衛星ネットワーク関係調査事業			担当部局庁	内閣府		作成責任者		
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定) 年度	平成27年度	担当課室	宇宙戦略室		参事官 末富 理栄		
会計区分	一般会計			政策・施策名	施策名：32 宇宙開発利用の推進（政策9－施策①）				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	宇宙基本法 地理空間情報活用推進基本法 (第三条、第二十条、第二十一条)			関係する計画、 通知等	宇宙基本計画・日本再興戦略				
主要政策・施策	宇宙開発利用			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	防災等のためのリモートセンシング衛星の複数機の一体的な整備・運用に関し、関係行政機関や民間事業者等のユーザーニーズの抽出及びそれを満たす衛星システムの具体的な仕様を検討するための調査								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	防災等のためのリモートセンシング衛星の複数機の一体的な整備・運用に関し、行政関係機関や民間事業者等のユーザーニーズの抽出、関係行政機関や民間事業者等のユーザーニーズを満たすための研究開発機関、産業部門の適切な役割分担、及びこれらを満たす衛星システムの具体的な仕様を検討するための調査を実施する。また、衛星システム整備の費用対効果の検討、官民の費用分担、民間ニーズがあるならば民間資金の活用も含めた調査も実施する。 また、リモートセンシング衛星分野を主として、中長期的に研究開発、産業、ユーザーニーズが効率的にサイクルし、我が国の衛星分野全体として最適化するための対応施策等について調査を実施する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	250	80			
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		0	0	250	80	0		
	執行額		-	-	231				
	執行率(%)		-	-	92%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載						☐ チェック			
定量的な 成果目標 の設定が 困難な 場合	定量的な目標 が設定できない 理由及び定 性的な成果目 標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と24～26年度の達成状況・実績				
		リモートセンシング衛星に対するユーザーニーズ調査を実施し、そこから得られた結果を踏まえ、シミュレーションモデルを利用し試行錯誤を繰り返しながら、要件を満たす衛星システム等を検討していくことから、定量的な目標を設定することは困難であるが、本調査研究によって得られた成果は、今後の宇宙政策の立案等に活用する見込みである。			定性的な成果目標：我が国の宇宙政策の目標を達成するために、今後の宇宙政策の立案に資すること。 24～26年度の達成状況・実績：平成27年1月宇宙基本計画決定				
	事業の妥当性 を検証するた めの代替的な 達成目標及び 実績	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 年度
		調査研究の確実な実施	調査数	実績				178	
				目標値				66	
				達成度	%			270%	
	活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
		ユーザーニーズ調査については、国内の関係府省・民間事業者等合わせて38程度、欧米諸国等10カ国程度を調査する。技術シーズ調査については、国内外の関係機関・民間事業者等合わせて17程度を調査する。	活動実績					178	
			当初見込み					65	
			活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度
ワークショップを1回開催。	活動実績						0		
	当初見込み						1		
	単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
執行額 / 調査件数		単位当たり コスト	百万円				1		
		計算式	/				231/178		
平成	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					

27・28年度予算内訳（単位：百万円）	衛星ネットワーク関係調査事業	80		
	計	80	0	

事業所管部局による点検・改善				
	項 目		評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	関係行政機関及び民間事業者等のユーザーニーズを調査し、我が国としての防災等のためのリモートセンシング衛星の複数機の一体的な整備・運用に関し調査を実施した。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	我が国宇宙政策の立案に資するための調査であることから、地方自治体及び民間等ではなく、国が主体的に実施する。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		-	-
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	総合評価方式による一般競争入札により委託元を選定しており、競争性を確保するなど、適切に事業者を選定している。
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	真に必要な費用・使途に限定し、事業にかかるコストも削減を行い、予算規模の縮小に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	再委託申請の内容を確認し、事業にかかるコストを逐次確認している。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	真に必要な費用・使途に限定し、事業にかかるコストも削減を行い、予算規模の縮小に努めている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	真に必要な費用・使途に限定を行い、事業規模に見合った経費で支出を行う等、コストの削減に努めている。
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は当初見込みを上回っている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	会計法に基づく一般競争入札等により、より効率的、効果的な事業を提案した事業者を委託先として選定して、事業を執行している。契約期間を通じて定期的に打合せを行う等、委託先事業者における事業の進捗管理を行い、適時適切な指導監督を行っている。		
	改善の方向性	引き続き、適正な執行に努める。		
外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
備考				

関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度		平成23年度		平成24年度		
平成25年度		平成26年度	新26-0005			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

A.(独)宇宙航空研究開発機構、(株)三菱総合研究所

E.

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

[illegible]

	計		0	計		0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					☐ チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社三菱総合研究所	広域防災監視衛星ネットワーク関係調査事業	118	1	100%
2	独立行政法人宇宙航空研究開発機構	広域防災監視衛星ネットワーク関係調査事業	113	1	100%
支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載			☐ チェック		